

Oxbridge 研修を終えて

山岸 龍聖

●はじめに

私が第4回 Oxbridge 研修に参加を希望した理由はなかった。観光としてイギリス、オックスフォード、ケンブリッジには行ってみたいと思うことはあったが Oxbridge 研修、生き様研修として行くのは事前研修、準備、報告書、報告会、集団行動などがあり、怠惰の塊のような私にとってとても煩わしいものであった。もちろんこの研修に価値があることはわかっているが、寮暮らしの1週間でオックスフォード大学内に入れて、オックスフォード生と交流できたとしても約50万円という金額は少々高いようにも感じた。また前回の Oxbridge 研修のロンドン観光の次の日に6人が死亡するテロが起きており、少し危険なのではないか思った。前回の参加者は31人に対して今年の参加者は24人となっているのはこれが原因なのだと思う。では、なぜ参加したのだと言われると、親に強制的に参加させられたというのが正直な答えだ。自分は正式な参加申込書を出すまで行きたくないと粘ったが結局参加することになった。せっかく安くない金を払ってもらって研修に行くのだから一応「楽しもう」という目標は立てた。研修を終えた今、正直ここに何を書いていいのかわからないし、何か書いても誰かしらと内容は被ると思うが、それでも何かは書きたいと思う。

●1日目

前高に4時集合は太田に住んでいる私にとってとても大変であった。12時間を超えるフライトを終えイギリスについた。ちなみに自分は日本での手荷物検査で、家で取り出しておいたはずのカッターを没収された。次の Oxbridge 研修に行く人は気を付けてほしい。オックスフォードの寮に着いて最初にオリエンテーションを受けた。何を言っているのか全くわからなかった。周りのみんなもうんうんうんうんずうずうしていたけど多分理解してなかったはずだ。また自分の部屋は他の人の部屋より広く最上階だったので天井も高かった。時差の影響でとても長い1日だった。

●2日目

時差ぼけの影響によるものだと思うが、前日10時半に寝たのだが起きたのは1時半だった。Welcome Tea では紅茶を飲みながらお菓子を食べた。特にスコーンというイギリスの伝統的なお菓子はおいしかった。また紅林さんによるレクチャーでは価値観の多様化やグローバル人材になるために必要なことを聞いた。

●3日目

ケンブリッジ大学に行き、サイエンスフェスティバルに参加した。様々な学生がいろいろな発表をしていた。商品のパッケージの重要性や体温などについての発表を見た。発表を見た後はケンブリッジのカレッジ内を見て回ったりした。

●4日目

まずオックスフォード市内を散策した。博物館では自分の好きなゲームに出てくる AKM、UZI、

Mini-14 を見ることができた。午後は留学生とのセッション、クリス先生のワークショップ、岡本さんによるレクチャーと、ぶっ続けで岡本さんの話が終わったころにはくたくただった。夕食が終わったら、クリス先生のワークショップが 10 時近くまであり、みんな言葉もほとんどかわすことなく部屋へ戻った。

●5 日目

プレゼンテーションの準備ではギリギリながらも協力して終わらせることができた。オックスフォードでの買い物では、町を見ながら、紅茶やオックスフォード大学のロゴのシャツなどを買うことができた。プレゼンテーションは特にミスをすることもなく終えることができたので良かった。

●6, 7, 8 日目

ロンドン市内観光ではビックベンが工事中で見られなかったことが残念だった。レストランでは貴島さんと竹本さんとお話をしながら夕食を食べた。私は貴島さんからお話を聞くことができなかったが、竹本さんからはたくさんのお話を聞くことができた。留学への道筋などを聞くことができとても良かった。

●まとめ

動機は不明確なまま参加した研修であったが、この研修を通して私はたくさんの経験や知識を得て、たくさんの刺激を受けることができた。特に岡本さんや紅林さんなどの話には惹かれ、考え方が 180 度とはいかないが 120 度くらいは変わったかもしれない。チャンスがなかったら待つのではなく、失敗を恐れずチャンスを作り出すことが重要ということが分かった。チャンスを掴む回数が増えれば成功する可能性も高くなるということだ。この研修のテーマは生き様研修。私はたくさんの人から生き様や価値観を学び、自分の人生についても考えさせられた。正直この 1 年間まともに勉強した記憶がない。テスト前日から一夜漬けでテストに臨むことなんてざらだった。この研修を機に考えを改め、日ごろから計画的に勉強しようと思った。この研修は日ごろから意識を高く持っているはずの彼らをもっと高めてくれると思う。1 年生だけでなく、今回参加しなかった 2 年生もぜひ参加してほしい。

